



「英語の日」のような一日 ALT とルーテル学院大の学生ボランティアと一緒に

菊陽町の小学校には、定期的にルーテル学院大学から学生がボランティアとして来校し、英語の授業のお手伝いをしてれています。子供たちもこの日を楽しみにしているようです。今年も、4年生の2人の学生さんに来てもらえることになりました。19日（木）は、ALT、英語専科の一枝先生の来校も重なり、まるで「英語の日」のようでした。子供たちは英語を使つてのやり取りが大好きです。ALTの先生とも物怖じせずに話す様子はたいしたもの。この気持ちを失わせることがないようにしないといけません。音楽室では、子供たちが、自己紹介の学習をしていま

した。ALTのジョイ先生と会話のデモンストレーションをしようと、多くの子供たちが挙手をしていました。間違いをおそれずに自己表現をしていくことが上達の秘訣です。たくさん聞いて、たくさん話していきましょう。次の学習も楽しみです。



前途洋々

愛校作業お世話になりました！！

21日（土）はお忙しい中、多くの保護者の皆様に愛校作業に参加いただきありがとうございました。季節柄、ひと雨ごとに草がぐんぐん伸びていますので、運動会前もということもあり、練習や本番に向けた環境をつくっていただきありがとうございます。また、役員の方々には事前に学校に集まっていたいただいて、段取りなどを打ち合わせていただきました。併せて、運動会のお手伝いや「子ども110番の家確認」「校区の危険箇所確認」の段取りについてもお話していただきました。子供たちの学びの環境づくりに保護者の皆様のお力が大きいことを実感しています。当日は子供たちも張り切って運動場の草を引いてくれました。運動会の練習もいよいよ佳境に入っています。練習の成果をきれいにあった運動場で精一杯披露してもらいたいと思います。

児童集会で環境委員会が躍動！

学校では定期的に児童集会を開き、委員会からの報告、呼びかけなどを行っています。20日（金）は、環境委員会から、環境保全に関する呼びかけがありました。集合形態での集会を再会し、子供たちも、相手（聞き手）を一層意識した発表を心がける必要が出てきました。そんな中、環境委員の子供たちは、寸劇やクイズを取り入れて、精一杯相手に伝わる発表をしてくれました（戦隊ヒーローが現れましたよ）。また、うれしかったのは、最後のお返しとして、決して少なくはない数の子供たちが感想や学んだことなどを発表してくれたことです。このように、日々のやり取りを積み重ねながら「表現する力」を伸ばしてほしいです。



5月のキャロッピーデーは「メロン」をいただきました

5月18日（水）は今月のキャロッピーデーでした。今月は、菊陽町でとれたメロンをいただきました。種類は「アムスメロン」。メロンには網目のようなものがありますが、すいかのように縦に網目がない部分があるのがこのメロンの特徴です。果肉はきれいな薄い緑色で、柔らかくて果汁が多く、甘い香りのする美味しいメロンです。生産者の後藤秀孝さんによると、メロンの栽培は水加減がとても難しく、皮が固いときに多く水をあげると、皮が割れてしまいます。そのため、葉や茎の様子をこまめにしながら栽培をされているそうです。確かにとてもみずみずしく、香りのいいメロンで、おいしくいただきました。「もっと食べたい！」と思った子供たちも多かったのではないのでしょうか。その他、この日はやきうどんもいただきました。かつおぶしの香りが食欲をそそるおいしい一品でした。31日（火）のくまさんデーは、水俣・芦北から！

